

果樹園だより

徳島県立池田高等学校三好校



「ありがとう」を大切に！！

㊦強風による果樹の被害㊦

6月初旬に四国沖を台風が通過しました。その時の強風により、果樹園では複数の樹の枝が根元から折れたり、樹自体が倒れたりしました。

その強風で JR 徳島線でも倒木があったことから、学校が休校になりました。生徒がいない中、職員で樹を切り分け、運搬しやすいようにしました。



㊦ブドウの摘粒・袋掛け㊦

生徒学習用のブドウハウスで摘粒と袋掛けの作業を行いました。昨年はブドウの果実のほぼすべてが何かの生き物によって食べられたので、今年はその対策として袋掛けした上に、ネットをかぶせました。



㊦学習用ナシ棚の袋掛け・ネット張り㊦

果樹園のナシ棚の幸水と豊水は、果樹専攻生以外の2・3年生にも手伝ってもらい、袋掛けを終えました。この日は専攻生3人が学習用ナシ棚の袋掛けと周囲のネット張りを行いました。先にネットを張り、そのあと袋掛けをしました。

隣にある学習用モモ棚は食害をうけていることから、収穫が近づいてくれば、上部にもネットを張ったり、障害物を設けたりするなど対策をしないといけません。



㊦徳島新聞の取材㊦

モモの低樹高栽培が成功し、モモの収穫を迎えました。しかし、6月13日に何らかの生き物によって、食害を受けたことから、収穫を前に徳島新聞さんが取材に来てくれました。

この取材の記事は6月21日（日）の徳島新聞に掲載されています。



㊦モモの食害と対策㊦

昨年は57個の収穫があったモモ、今年は78個の果実がなっていて、収穫を楽しみにしておりました。ところが収穫予定の10日ほど前、動物による食害を受けました。被害の度に対策をしましたが、効果があったと思ったら、また被害の繰り返しとなりました。最初の被害は6月13日（土）でした。それ以降の食害の状況と対策も書いておきます。

6月13日（土）

夜が明けてまもなく果樹園を見回りしている際に、食害を発見しました。何によって食べられたのか、はっきりはしませんが、おそらくハクビシンだと思います。ネットの隙間から入られたと思われるので、隙間を針金で狭くする対策をしました。



6月14日（日）

朝、モモ棚へ確認に行くと、昨日に行った対策もむなしく、2個被害にあいました。この日は意見発表の練習のため、果樹専攻の生徒が敷地農場に来るので、練習の前に被害への対策をしました。

今回の対策は隙間があったネットにさらにネットを重ねて張りました。そして、ネットに触れると音になるように鈴を8つ付けました。



6月16日（火）

前日の被害はありませんでしたが、朝、確認に行くと12個のモモが落ちていてかじられたあとがありました。赤く実ったモモは種のところまで食べていますが、白いモモは少しかじっただけになっていることから、甘みを感じているのだと思います。

今回は枝も落ちていたので、ネットが張られていない上部から侵入したと思われます。対策としては上部にネットをかぶせました。



6月18日（木）

朝の確認でかじられたモモ1つがネットの外にありました。このことから動物は上部に張ったネットから手を伸ばし、モモを取ったのではないかと考えました。

新たな対策として、上部ネットの上にユズの枝（鋭いトゲがある）を何本も置きました。



6月20日（土）

もうこれで大丈夫だろうと思っておりましたが、かじられたモモ3個が地面に落ちていました。今回はネットの中です。残っているモモは30個ぐらいしかないので、少し早いですが、この日に収穫を行い、22日（月）にモモの計測を行いました。

